

2025年度 事業計画書

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

I. 事業の目的

当財団は国の社会的ニーズが高い大学理工学分野の学部学生および大学院生に対し、奨学支援を通して人材の育成を図るとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励および助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を促すことを目的としています。

今年度は、基本財産株式の増配や好調な資産運用等による財務基盤の強化を背景として、事業予算の規模拡大により、これら公益目的事業の更なる拡充・推進を行ってまいります。

1) 奨学事業：

人物・学業ともに優秀で修学に支障のない健康を維持しながらも、経済的理由により修学が困難あるいは支障がある学部学生・大学院生に対する奨学金の給付および指導

2) 研究助成事業：

エネルギーおよび炭化水素有効利用に関連する分野に於ける技術開発・研究開発の奨励、調査研究の助成を通じた若手研究者への支援

II. 事業内容

1. 奨学事業

中期収支見通しに基づいた財団の事業拡大方針に沿った奨学事業を展開します。前年度からの主な変更点は、奨学金給付額を月額一人当たり4万円から5万円に増額することと、一般奨学生（学部・修士課程）の採用枠を2名増枠（北海道大学と名古屋大学を各1名増枠）し52名とすることの二点です。給付増額は近年の生活費上昇や授業料値上げの動きに対応するもの、奨学生採用枠増枠は、指定校間のバランスを是正することを目的としています。

- 1) 採用計画： 一般奨学生（学部・修士課程）の採用枠を合計52名とします。一般奨学生の内訳は、指定12大学から新規奨学生として30名、継続奨学生として22名を採用します。（注1、注2）また、博士後期課程（以下、博士課程と記載します）は引き続き若干名の採用とし、予算としては4名程度の採用を見込んでいます。

	本年度計画	前年度実績	増 減 (-)
前年度からの継続生	22名	34名	-12名
本年度の新規採用生	30名	16名	14名
博士後期課程の奨学生	4名	1名	3名
合 計 注1・2)	56名	51名	5名

注1) 大学別内訳は8ページ添付資料のとおりです。

注2) 新規生と継続生の内訳は、奨学生への進路調査に基づく現時点での予定です。合計52名採用は変更ありませんが、新規生と継続生の内訳は変更になることがあります。

- 2) 奨学金給付予算額： 今年度より月1万円の増額を前提に、3,360万円（内、博士課程向け給付予算は240万円）とします。

給付基準： 月額 一人当たり5万円 年額 一人当たり60万円
給付総額： 年額 3,360万円（最大見込み）

3) 主要な活動計画 (予定) :

- 2月17日 奨学生募集開始
- 4月22日 応募締切
- 5月14-16日 個別面談 (原則は新規生と博士課程のみで対面とWEBの併用)
- 6月6日 奨学生選考委員会にて最終選考
- 6月6日 理事会にて採用決定
- 6月中旬 採用通知
- 6月~2月 月例会開催と奨学金の給付 (原則毎月20日)

2026年3月上旬 卒業生合同送別会を開催

- (1) 奨学金を毎月手渡し (月例会席上または面談) で行い、就学や生活状況の確認やアドバイスをを行う
- (2) 月例会では大学での研究テーマの発表や身近な話題、時事問題などを話し合うなど、奨学生間の相互交流や自己啓発の機会を持つ
- (3) 各地区で奨学生育成・交流促進のための企画を年二回程度実施する
- (4) 相互交流を目的として複数地区合同での月例会を年一回開催する
- (5) 奨学生交流 WEB ツール「奨学生のひろば」を活用したバーチャル意見交換会を実施する (テーマを決めて年二回程度)

2. 研究助成事業

助成事業の仕組み、採択件数等につきましては従来どおりですが、予算の規模、優秀案件助成金額等について事業規模拡充を図ります。また昨年度より、応募件数減少傾向に歯止めをかけることを主眼に、募集期間の拡大（従来の6月末～8月末を5月中旬～9月中旬に拡大）や推薦大学の増加と1校当りの応募数制限の廃止等を実施しました。本年度の募集期間については、募集開始時期の4月中への前倒しを図ります。

募集要項の骨子：

- 1) 助成対象者と助成目的：昨年度からの大きな変更は無く、指定14大学並びに財団評議員・理事・選考委員が推薦する大学（推薦大学）のエネルギー関係の研究を行う大学および研究機関の博士号を有する若手研究者（教授は除く）を対象とし広く募集を行います。また、女性研究者への支援が重要であるとの財団の考え方を追記しています。
- 2) 募集対象：指定大学14校は従来どおり、また推薦大学の決定方法については、昨年度の15校をベースとしつつ、選考委員からの推薦および意見等を反映したものとしたします。なお、一昨年度から推薦大学の1校当りの応募件数制限を廃止しています。
- 3) 助成対象となる研究分野：募集要項の主旨については、前年度からの変更はありません。

基幹技術・先端（先進）技術を問わず以下の研究開発テーマ

(1) エネルギーに関連する次の分野

- 1 エネルギー製造・輸送・貯蔵等に関する研究開発
- 2 エネルギー利用効率化に関する研究開発
- 3 代替エネルギーに関する研究開発
- 4 環境保全や安全向上のための研究開発
- 5 エネルギー効率向上等に資する工業材料に関する研究開発

(2) 炭化水素有効利用に関連する次の分野（但し、医薬品関連を除く）

- 1 炭化水素誘導体およびその製造法に関わる研究開発
- 2 炭化水素をベースとする新素材の研究開発

注) 当財団は旧ゼネラル石油株式会社からの寄付により設立されたものですが、支援対象とする研究には石油精製や石油化学のような規模やこれらの産業に資することを必ずしも求めてはおりません。支援対象とする研究は学術的な成果が期待出来るものや、その時代の要請に応えるような技術開発研究等であり、脱炭素・低炭素を支える研究なども積極的に支援しています。

研究テーマの該当性については柔軟性をもって判断しています。過去に助成を受けた研究テーマを年度毎に纏めてHP上に掲載していますので、そちらも参考にしてください。

- 4) 情報の取扱い：昨年度からの変更は無く、募集要項および財団役員・選考委員等の就任承諾書に守秘義務を明記しています。
- (1) 応募の際提出の個人情報、技術・研究情報は、選考手続きのみに使用します。
- (2) 助成決定後には、①氏名・所属機関名・職位、②研究課題名・内容、⑤助成金額、⑥研究成果報告、⑦財団主催の行事等で撮影された写真をHP上に掲載する以外には公開せず、またこれらの資料も財団の文書管理規程に則り厳重に管理し、所定の保存期間後には速やかに破棄します。
- (3) 選考委員、事務局を含む全ての財団関係者は提出された情報について守秘義務を負っております。
- 5) 研究助成予算額：収益および奨学事業とのバランスを考慮し、今年度以降の予算規模を拡充する計画です。
- なお、予算総額・助成件数・1件当り助成額については、本年11月時点で見直される2025年度収支状況を踏まえ、若干の修正が行われる可能性があります。
- (1) 予算総額： 3,300万円 (前年度実績2,850万円)
- (2) 助成件数： 18件～24件 (前年度実績24件、応募件数43件)
- (3) 助成額(1件当り)： 1件当り原則120万円
*特に優れた研究には増額給付します。(優秀賞：150～200万円)
- (4) 助成期間： 1年間
- 6) 主要な活動計画(予定)：
- | | | |
|-------|-------|------------------------|
| 2025年 | ～5月中旬 | 研究助成案件の募集開始 |
| | 9月中旬 | 応募締切 |
| | 9月下旬 | 第1次選考 |
| | 11月下旬 | 第2次選考 |
| | 12月中旬 | 選考委員会にて最終選考 |
| | 同上 | 理事会にて助成金受賞者決定、応募者へ結果通知 |
| 2026年 | 2月中旬 | 研究助成金贈呈式を開催(東京) |

【参考】 理事会・評議員会開催予定：

1) 理事会(決議事項等)

- 2025年 6月6日 ・2024年度 事業報告及び決算の審議
 ・2025年度 奨学生最終選考
 ・評議員・理事・監事の任期満了に伴う改選
 ・定時評議員会招集に関する決議 1
- 12月中旬 ・2025年度 研究助成案件最終選考
- 2026年 2月中旬 ・2026年度 事業計画・収支予算の審議

2) 評議員会

- 2025年 6月24日 ・2024年度 計算書類等の承認
 ・2024年度 事業報告
 ・評議員・理事・監事の選任

以上

<添付資料>

奨学生採用計画 大学別内訳表

大学名	継続生				新規 奨学 生	2025 年度 合計	奨学生数の推移		
	学部 4年	修士 1年	修士 2年	計			2024 年度	2023 年度	2022 年度
北 大	0	1	2	3	1	4	3	3	3
東北大	0	1	1	2	3	5	5	5	5
東 大	0	2	2	4	1	5	5	5	5
東科大	0	0	2	2	3	5	5	5	5
横国大	0	0	1	1	3	4	4	4	4
早 大	1	0	0	1	3	4	4	4	4
慶 大	0	1	2	3	1	4	4	4	4
名工大	0	0	1	1	2	3	3	3	3
名 大	0	0	1	1	2	3	2	2	2
京 大	0	0	0	0	5	5	5	5	4
阪 大	1	1	1	3	2	5	5	5	5
九 大	0	0	1	1	4	5	5	5	5
合 計	2	6	14	22	30	52	50	50	49

(内、新規採用人数) (30) (16) (25) (31)
 博士課程奨学生 1名 3名 4名 1名注1)

注1) 応募/採用者4名のうち、3名が大学 SPRING 等の公的支援が6月に決定した為、4-6月分の給付を以て給付終了となった。

注2) 京大・阪大において、中途退学・9月修了者があったため各1名下期補充を実施した。